

手稲 さと川便り 第1号

手稲さと川探検隊
ニュースレター No.1
2005.3

手稲山の麓に広がる泥炭地を開拓して住宅地となっているこの辺りは、四季それぞれの姿を見せる自然豊かな手稲山を望む地域です。

かつては原っぱにヒバリがさえずり、林にカッコウの声を聴いていましたが、今はもう自然らしいものを探したら中の川しなくなっていました。

そうは言っても手稲山の森と海をつなぐ川です。子供も大人も一緒に生き物を探したり、自然に戻せる活動をしたいと思い、とにかくできることから始めてみました。

よく見るといろんな生き物や新しい発見がいっぱいです。おとなも子供の頃の自分に戻って大はしゃぎです。

始めたばかりですが、そんな楽しい活動をご紹介します。



2004年の活動

7月31日(土) 中の川生きもの探し第1弾 協力:渡辺展之さん(さっぽろ自然調査館)



10:00 ~ 12:00 新発寒朝陽会館 ~ 共栄橋下

前日から仕掛けていたペットボトルの罠に掛かっている魚やエビの予測をする。エサ入り/エサ無し、草陰/橋脚脇でそれぞれどうかな？

みんなで中の川の堤防を共栄橋(下手稲通)下まで歩いて行きました。今日はいい天気、川に入るには最高です。

さてさて、さっそく川に入って罠を上げてみます。

意外にもエサ入りには魚は入っておらず、エサ無しにウキゴリが掛かってました。

さっぽろ自然調査館の渡辺展之さんが生きものの名前を教えてくださいます。スジエビやカワニナ、クサヨシの草陰をゆするとトミヨもたくさんいました。そしてなんとモクズガニもいました。

「こんな街中の川にこんなに生き物があるなんてねえ・・・」なんて言いながら、しばらく網やらザルやら手にしながら、みんなあちこちで生き物発見して過ごしました。



9月26日(日) 中の川生きもの探し第2弾 協力:大塚武さん・柳井清治教授(北海道工業大学)



10:00 ~ 12:00 中の川(共栄橋下) ~ 星置川(ほしみ橋下)

今回は、投網と電気ショッカーによる河川の生物調査の許可を持っている道工大環境デザイン学科柳井ゼミの協力を得ての生き物探しです。みんなで川に入る前に投網で調べてもらいます。プロの華麗な投網さばき！で、たくさんのウグイが掛かりました。

さて、川に入ってまたみんなで網を入れてみます。スジエビのほか、ヌマエビもいました。そしてウキゴリ、トミヨです。

2004年の活動



もっと別の川も見してみようということで、星置川に移動しました。

電気ショッカーの実演です。イワナもヤツメもいました！（もちろん許可が必要です）

さてまたまたみんな待ちきれず川に入ります。暖かい秋の陽射しの下で、少し冷たい水だけど、もうみんな川の虜です。

ほっちゃんれが流れてきましたよ・・・感激。日本海から直接鮭が登るんですねー もともとはどの川も、秋には鮭がいっぱい登ってるんはずですもんね。

あーいたいたあ！大人も子供も大はしゃぎです。

さてさて、ここにはどんな魚がいましたか？みんなで記録シートにスケッチしました。

終了後、昼は豚汁をすすり、鮭を待ちながら、ぼかぼか陽気の中、愉しく昼飯をいただきました。そのあと、いるいる一鮭のペアです。



11月7日(日) 森の樹のタネ拾い&タネ播き



10:00 ~ 13:00 中の川源流 西野市民の森 ~ 発寒川緑地

さて今回は中の川の源流でタネ拾い。そしてそのタネ播きです。まずは、森の中へ・・・ 秋も深まったものの幸いいい天気です。

どんなタネがあるかな？もう時期も遅く、ドングリや栗はリスやネズミに持ち去られたようでなかなか見つからない。

「あったあった！」「なにになにい？」「キノコとかたつむり」
「このドングリは？」「わー虫食いだよ」



森をぐるり歩いて降りた沢は、中の川の源流です。

この前の台風で倒れた樹があちこちにあり、ひっくり返った根が悲しげに空を仰いでいます。



発寒川緑地に移動してタネ播きです。ビニルポットに3粒づつミズナラのドングリを植えて、自分の名前をラベルに書いて付けました。それと台風の倒木から採ったシラカンバとオオバボダイジュをみんなで播きました。

終わったあとは発寒川のほとり、晩秋の穏やかな陽の下で、温まる白玉しるこをいただきました。ごちそうさま。

2004年その他の活動

6月5日(土)「ホタル放流会」とハルニレのタネ播き (西区ホタルの会にて)



10:00 ~ 11:30 琴似発寒川左股川 福井清流会館下

例年7月下旬にホタル観察会をしている発寒川の河畔林で、ホタルの幼虫の放流会を行いました。ちょうどハルニレのタネが落ちる時期だったので、みんなで拾って播きました。

新しくできる五天山公園のホタル水路の周りに、林を創っていくためです。

樹の苗の育成



手稲周辺に自生している樹木から採ったタネを播いて育てています。

街の中を流れる川にはもう河畔林もなく、そもそもこの辺りには林もなく、だからもともと棲んでいた生き物はいなくなっていました。

川の周りにウサギや鳥たちが住める林があったら、それが手稲山からつながったら、札幌の周りをぐるりとつながったらどんなにかいいでしょう。



<今、育てている樹種>
オニグルミ、ミズナラ、ホオノキ、ケヤマハンノキ、イタヤカエデ、ハルニレ、キハダ、カツラなど

中の川の脇に整備される桜川でも植えられるといいですね。

道工大環境デザイン学科岡村ゼミとも協力して進める予定です。

水辺の活動報告会

札幌市の活動発表会で、手稲さと川探検隊の活動を発表します。

水辺の活動報告会「水辺の生きもの探してみよう！」

3月12日(土)13:30 ~ 16:00 札幌市環境プラザ 環境研修室(北区北8条西3丁目エルプラザ2階)

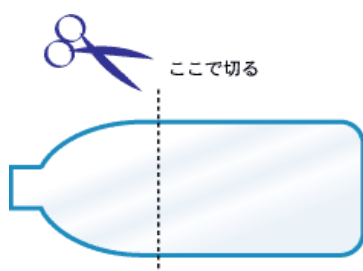
さけ科学館 岡本氏によるお話「水生生物調査とは? 札幌の河川に住む生き物」

事例発表:カラカネイトトンボを守る会、手稲さと川探検隊、市立平和小学校

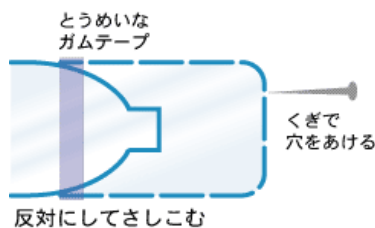
問い合わせ:札幌市環境局環境都市部環境対策課水質係

3月5日(土) ~ 3月12日(土) 札幌市環境プラザで活動の展示も行います。

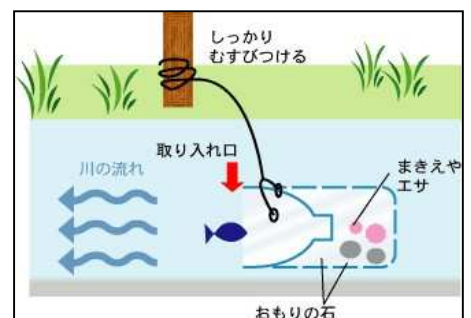
<第一弾で使ったペットボトルのトラップ>



ペットボトル(1.5~1L)を準備し、
上図のようにペットボトルを切る



ペットボトルを反対にしてさしこみ、透明なガムテープでしっかりとめる。水が通りぬけられるように、くぎで穴をあける。



参考: E-Sagaプロジェクト(佐賀市環境学習ホームページ)
http://www.city.saga.saga.jp/e_saga/basyo/yattemiyo/y12.html

2005年の活動予定

昨年夏から3回の活動を、あまり計画的ではなく行ってみました。今年は少し計画して進めたいなあと考えています。(そうしないと、ついつい場当たりの無計画ざりざり泥縄開催になってしまうので・・・)

3月 動物の足跡探し・・・森へ入って動物の足跡や木々の冬芽などを見てみましょう(手稲山or西野)

4月 春をさがそう・・・街の川、源流の森、春を探して歩いてみよう

5月 森の恵みと春のタネ播き・・・山菜?花?秋に採ったカバノキなどのタネも播きましょう

6月 川の生き物さがし、苗の鉢上げ

7月 川の生き物さがし

8月 川の生き物さがし

9月 川の生き物さがし

10月 森のタネ拾い、タネ播き、芋煮会



川の生き物さがしでは、昨年やらなかった鳥や水生昆虫、源流の森の生き物(野ネズミ、歩行性昆虫、土壌生物・・・)などもやっていきたいし、定点モニタリングなどもしようと思います。

また、茂りすぎているヤナギを切ったりして、川遊びできる場所を少しでも作っていけないかなあと考えています。

そして西区ほたるの会や北海道工業大学との連携を発展させて、他のグループ、地域の学校や福祉・医療施設などとの連携をしていきたいなあと考えています。

次回予告

3月26日(土) 冬の森の生きもの探し



10:00 ~ 13:00 手稲山または西野市民の森(現地集合)

スノーシューで冬の森の中へ入って、動物の足跡や、木々の冬芽、昆虫の卵などを見てみよう。

服装は寒く無いように。長靴・手袋は必ず履いてね。

申し込み:3月19日(土)までにメールまたはFAXで鈴木まで

以下の内容についてお知らせ下さい。定員20名になり次第締切ります
参加者全員の 名前 学校 新学年 住所 電話 メールアドレス

小学生以下の参加は、基本的に保護者同伴です。また、保険代実費200円がかかります。



手稲さと川探検隊

代表 鈴木 玲 Suzuki Akira

E - mail aasuzuki@pop11.odn.ne.jp

携帯:090-1305-7473、Leo-kaede3914@d.vodafone.ne.jp

Tel & Fax 011-684-4487

〒006-0807 札幌市手稲区新発寒7条6丁目8-19

さと川探検隊URL <http://harunire.hp.infoseek.co.jp/nakanogawa.htm>